

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

E. 学習・研究環境の改善

①TA・RA 制度による修学上の支援

《理工農系》

●北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科

「ナノマテリアル研究リーダーの組織的育成」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

全般的にいえることだが、教員及び学生の参加意識に温度差が感じられた。特に協業チュータリングなどのTAは応募者が少なく、積極的な学生のみ参加が目立った。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

大学院ということで、研究が中心にあることは仕方がないという大きな要因。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

大学院で研究以外のリーダーシップを学ぶ等の意識をあらかじめ高めておく必要があったのではないか。